



カンパスシール事業の終了について

～カンパスシール事業の成果と新たなポイント制度の検討について～

- 平成 18 年度の事業開始から、これまで 4 回の事業期間延長を経て実施してきたカンパスシール事業が、平成 27 年 3 月 31 日に事業期間満了を迎えます。
 - カンパスシール参加事業者及び消費者団体等と、グリーンコンシューマー推進懇話会（市民、事業者、学識経験者等で構成し、市の環境施策について意見交換を行う懇話会）等で今後のあり方について意見交換を行った結果、
 - 他都市に先駆けてレジ袋削減に取り組んできた「カンパスシール事業」を契機として、多くの事業者が「レジ袋削減に関する店舗独自の取組み（レジ袋無料配布中止、ポイント制度など）」を進めていること
 - カンパスシール事業開始当初の目標であったレジ袋お断り率 20% を大きく上回るお断り率を達成・継続していること
 - 市民のマイバッグ持参が定着してきたこと
- 等により、カンパスシール事業は「一定の成果を果たした」と考えられ、終了すべき時期にあるとの意見が集約されましたので、予定どおり平成 27 年 3 月 31 日を持ちまして、事業を終了いたします。
- 今後は、事業者が実施する「レジ袋削減に関する店舗独自の取組み」を広報面等で支援するとともに、レジ袋に限らない新たなポイント制度への発展を目指して、事業者や消費者団体と検討を開始します。

<カンパスシール事業について>

- ・市民が買い物時に、カンパスシール参加店でレジ袋を断るとポイントシールが貰え、20ポイント貯まると参加店で50円分の割引券として利用できる特典により、レジ袋削減を推進する制度です。

1 事業終了について

- ◇ カンパスシールの配布終了期限（店舗→消費者）：平成 27 年 **3 月 31 日**まで
- ◇ 割引券としての利用期限（消費者→店舗）：平成 27 年 **6 月 30 日**まで
（当初、利用期限を「平成 27 年 4 月 30 日まで」としていましたが、2ヶ月間延長します）

- ※ シール台紙に記載されている利用期限に関わらず、平成 27 年 6 月 30 日まで割引券として利用できます
- ※ 利用期限を過ぎたシール、または 20ポイントに満たないシールは割引券として利用できません

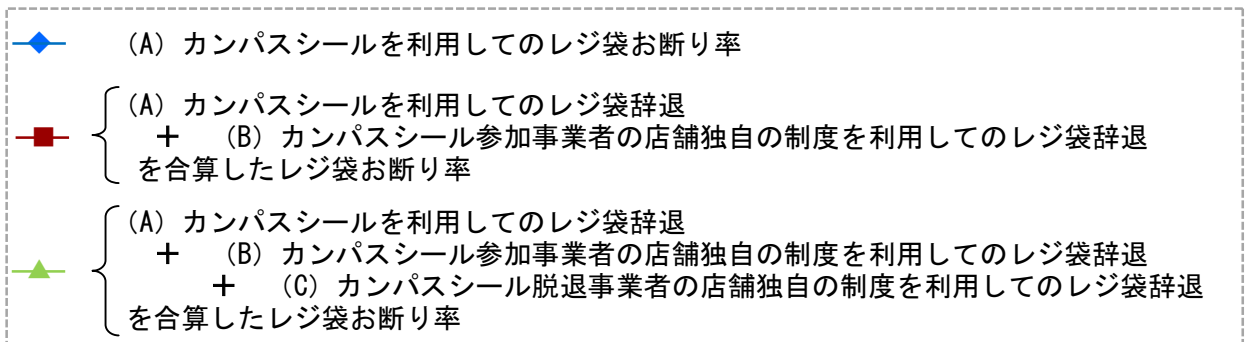
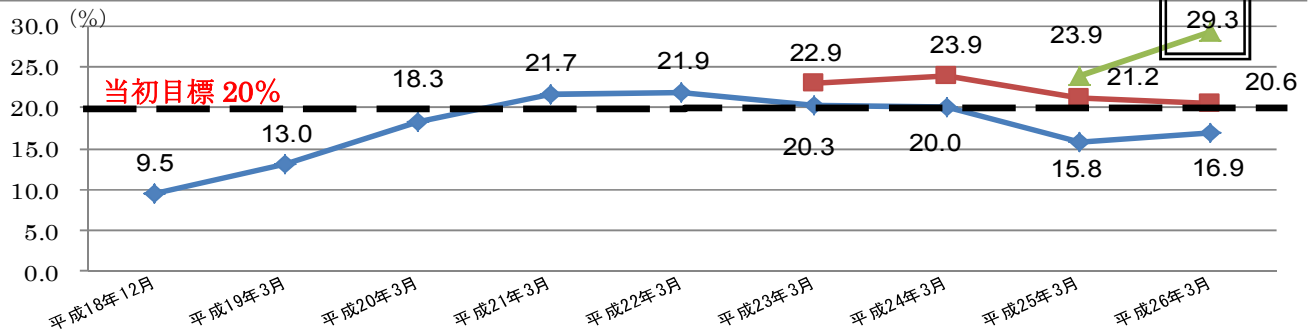
2 カンパスシール事業の成果について

(1) レジ袋お断り率

○ カンパスシール事業開始当初の目標であった 20%を大きく上回る 29.3%のレジ袋お断り率を達成・継続し、市民のマイバッグ持参に一定の定着が見られます。

(カンパスシールを利用してのレジ袋辞退並びにカンパスシール参加事業者及びカンパスシール脱退事業者の店舗独自の制度(レジ袋無料配布中止、ポイント等)を利用してのレジ袋辞退を合算したレジ袋お断り率)

<お断り率の推移>



(2) レジ袋削減による環境への効果

| | |
|---|---|
| カンパスシール事業により削減されたレジ袋数 (事業開始の平成18年12月～平成26年12月) 約1億2,200万枚 | 原油に換算すると・・・ 約2,230キリットル ※ ドラム缶約11,200本分 |
| | CO2削減効果 約7,320トン ※ メディアドーム約176個分の広さの森林が1年間に吸収するCO2の量に相当 |

(3) 市内スーパー・商店街・事業者との協働・連携の推進

○ これまでスーパー等事業者と一緒にカンパスシール事業に取り組んできた結果、事業者と環境に関して協働・連携していく体制の強化が図られた。スーパー独自のマイバッグ制作やポイント制度の開始、廃食用油の回収など事業者独自の取り組みが進められています。

3 新たなポイント制度（エコポイント）について

○ カンパスシール事業で培った事業者との協働・連携を活かし、カンパスシールを発展させる新たな制度として、多くの市民が楽しく、気軽に環境に配慮した行動を実践できる環境づくりを進めることを目的に、環境行動に対してエコポイント等の経済的対価を付与する制度の検討を開始します。